

Armação de Pêra

について



写真: Bruno Santos

アルマサオン・デ・ペーラ

何世紀もの間、アルマサオン・デ・ペーラ（Armação de Pêra）は基本的に、マグロやサバなどを中心とする豊かな漁場に引かれて移り住んできた漁師の住む小さな村でした。塩漬けにされた後、魚介類はポルトガル南部および中部地方で消費するために出荷されてきました。

18世紀になると、相次ぐ海賊の襲撃からの防御として、裕福な漁船の所有者は海を一望する丘の頂上に小さな砦を築くために支援を提供しました。この砦の中にあるサント・アントニオを奉る礼拝堂もこの時期を起源とします。

現在でも、アルマサオン・デ・ペーラの海岸では漁師たちがいつもの作業に携わっているのを目にすることができます。

旅行者もまた、この地域の一面に広がる白い砂浜と温かい海水に引かれてこの地域に集まるので、村は活気に満ち、華やかで、そして何より国際的な雰囲気にも包まれています。